

自動運転の国際的なルール作りについてのシンポジウム

日時：2022年12月16日（金）09:00-12:30

場所：紀尾井カンファレンス

開催形式：ハイブリッド（会場＋WEB）

自動運転基準化研究所
Institute for
ACV Standardization

講演資料は以下サイトよりご参照出来ます：
<https://www.jasic.org/ACV/>



自動運転の国際的なルール作りについてのシンポジウム プログラム

09:00-09:05 **開会挨拶**
国土交通省 自動車局 次長 野津 真生

09:05-09:15 **自動運転基準化研究所における最近の取組について**
自動運転基準化研究所 所長 河合 英直

講演概要:

自動運転基準化研究所では自動運転の国際基準化、標準化活動にオールジャパンで取り組み、自動車線維持に関する規則の安全性評価法の議論を実施し、世界的に議論が進むレベル4への対応の検討を進めている。本講演では、自動運転基準化研究所の最近の取り組みとその成果について紹介する。

09:15-09:30 **自動運転に関する基準作成をはじめとした国土交通省の取組について**
国土交通省 自動車局 車両基準・国際課 安全基準室長 猶野 喬

講演概要:

交通事故の削減をはじめ様々なメリットが期待される自動運転については、2020年に我が国で高速道路でのレベル3の型式指定を行い、2021年に市場化された。その後も、更なる技術開発、実証実験や基準の見直しが進められている。本講演ではその概要と、国連自動車基準調和世界フォーラム(WP.29)における国際的な自動運転車の基準の議論の動向等を紹介する。

09:30-09:45 **自動運転に関する国際標準化とレベル4の社会実装に向けた取組**
経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室長 福永 茂和

講演概要:

現在、世界の自動車業界では100年に一度といわれるCASE革命に直面しており、とりわけ自動運転については各国で開発競争が激化している。本年4月に自動運転レベル4サービスを可能とする改正道路交通法が成立し、経済産業省、国土交通省は、昨年9月より「自動運転レベル4等先進モビリティサービス・研究開発・社会実装プロジェクト(RoAD to the L4)」を開始した。また、11月には、経済産業省が実施しているSAKURAプロジェクトの活動成果を元に自動運転車のシナリオに基づく安全性評価を定めたISO 34502が国際標準として発行された。

09:45-10:00 **日本における自動運転レベル3の社会実装と自動運転レベル4への取り組み**
日本自動車工業会 安全技術政策委員会 自動運転部会長 波多野 邦道

講演概要:

日本の官民連携による自動運転の社会実装に向けた日本自動車工業会の位置づけと取組に関して、自動運転レベル3の社会実装の実例を示した上で、自動運転レベル4によるモビリティサービスの現状と実現に向けた課題を概説する。

10:00-10:20

休憩

10:20-10:35 **UNECE - GRVAにおける自動運転車両の最近の議論と今後の展望**
UNECE GRVA議長 Richard Damm

講演概要:

GRVAは自動運転車両に関する世界的に調和した基準の調整と策定を進めるUNECEのワーキンググループである。本発表では、自動運転に関するWP.29における組織活動の概要を説明する。また、ADS(自動運転システム)の導入を促進・支援するための世界的に合意された規定を策定するGRVAの現在の主要な活動について紹介する。さらに、既存の基準をベースとした今後の活動の概要と、AD技術に関連する最近開始したタスクについて報告する。

10:35-10:50 **自動／自律運転コネクテッド車両の国際調和 – 米国の見解**
米国運輸省道路交通安全局(NHTSA) 国際政策・調和課 チーフ Ezana Wondimneh

講演概要:

自動運転システム(ADS)の安全性要件策定に関する国連ワーキンググループの副議長であるWondimneh氏が、ADSに関する米国の現在の国内活動状況と、この分野における国際的活動について説明する。

10:50-11:05 **欧州における自動運転規則の現状**
欧州委員会 域内市場・産業・起業・中小企業総局 政策担当官 M. Cristina GALASSI

講演概要:

新しい一般安全規則 (GSR) が2022年7月に発効し、欧州における自動運転の法的根拠が示された。実際、同時に欧州委員会は、EUにおける自動運転車両のための新しい型式認証フレームワークを確立する実施措置も発表した。本公演では、新しい評価手法やADSの安全要件に関する規定など、現行のADS法規 (EU 2022/1426)の概要を説明する。

11:05-11:25

休憩

11:25-12:25 **パネルディスカッション (Questions and Answers)**

司会: 自動運転基準化研究所 河合 英直

パネリスト:

- 国土交通省 猶野 喬
- 経済産業省 福永 茂和
- GRVA議長 Richard Damm
- NHTSA Ezana Wondimneh
- 自動車工業会 波多野 邦道

12:25-12:30 **閉会挨拶**
自動運転基準化研究所 所長 河合 英直

事務局:

公益財団法人 日本自動車輸送技術協会 自動車基準認証国際化研究センター

東京都新宿区四谷三丁目2-5 全日本トラック総合会館7F

TEL: 03-5362-7751

E-mail: acvs@jasic.org

URL: <http://www.jasic.org/>

講演者ご紹介



氏名 河合 英直(かわい てるなお)
所属・役職 (独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所
自動運転研究統括監 自動車安全研究部長
自動運転基準化研究所 所長

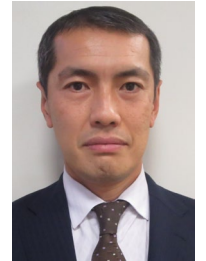
<略歴>

平成24年4月交通安全環境研究所 自動車安全研究領域 副研究領域長、領域長、国際調和推進部長、自動車研究部長を経て、平成30年4月自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部長、令和4年4月自動運転研究統括監
平成28年より自動運転基準化研究所所長
国土交通省 交通政策審議会臨時委員、車両安全対策検討会委員、第6期ASV推進検討会委員
経済産業省 総合資源エネルギー調査会臨時委員
内閣府 SIP「自動走行システム」推進委員会構成員、自動走行ビジネス検討会委員 他



氏名 猶野 喬(なおの たかし)
所属 国土交通省 自動車局 車両基準・国際課 安全基準室長

平成12年4月 運輸省入省
平成19年7月 独立行政法人交通安全環境研究所自動車審査部 前任自動車審査官
平成24年8月 国土交通省自動車局技術政策課 車両安全対策調整官
平成26年7月 自動車基準認証国際研究センター ジュネーブ事務所長
平成30年7月 国土交通省近畿運輸局自動車技術安全部長
令和2年7月 現職



氏名 福永 茂和(ふくながしげかず)
所属 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 室長

2002年 4月 経済産業省入省、製造産業局自動車課
2004年 4月 資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力基盤整備課
2006年 6月 留学(ハーバード大学ケネディ行政大学院)
2008年 6月 経済産業省産業技術環境局基準認証政策課課長補佐
2010年 9月 経済産業大臣政務官秘書官
2012年 4月 在上海日本国総領事館領事
2015年 6月 経済産業省商務情報政策局クリエイティブ産業課課長補佐
2017年 6月 在中国日本国大使館参事官
2021年 7月 現職



氏名 波多野 邦道(はたのくにみち)

所属 (株)本田技研工業 事業開発本部 ソフトウェアデファインドモビリティ開発統括部 エグゼクティブチーフエンジニア

1990年 株式会社本田技術研究所入社
1999年 プレーキバイワイヤの研究を開始
2009年 電動サーボブレーキの実用化に着手
2013年 自動運転の研究開発を開始
2015年 「電動サーボブレーキシステムの開発」にて第65回自動車技術会技術開発賞を受賞
2020年 ホンダレジェンドにて世界初のレベル3自動運転の型式指定を取得
2021年 自工会 自動運転部会 部会長
2022年 本田技研工業株式会社 事業開発本部



氏名 Richard Damm
所属 ドイツ連邦自動車交通局(Kraftfahrt-Bundesamt, KBA) 長官

Richard Dammはドイツ連邦自動車交通局(Kraftfahrt-Bundesamt, KBA)の長官である。また、ジュネーブにあるUNECE Working Party on Automated, Autonomous and Connected Vehicles (GRVA)の議長でもあり、自動運転に関する世界的に効力のある基準を策定している。

KBA長官就任前は、ボンとベルリンにおいて連邦交通・デジタルインフラストラクチャー省に勤務していた。

Richard Dammは、自動車基準の世界調和において、国際的に認められた専門家である。現在は、国内および国際レベルでの自動化、コネクティビティ、デジタル化に注力している。

ミュンヘン工科大学にて自動車工学と製品開発の機械工学を専攻し、卒業した。



氏名 Ezana Wondimneh
所属 米国運輸省道路交通安全局(NHTSA) 国際政策・調和課 チーフ

国際政策・調和課は、世界の安全機関との二国間・多国間関係の構築・維持、国際政策の策定、国際交通安全フォーラムでの米国代表、国際貿易交渉の支援などを担当する。

Ezana Wondimnehはグローバルな安全標準の策定で国際的に認められた専門家であり、国際貿易協定の交渉や貿易の技術的障壁の削減で豊富な経験を有する。現在、自動車基準調和世界フォーラム(WP.29)において、自動運転システムの機能要件とサイバーセキュリティを担当するワーキンググループの議長を務めている。また、アフリカのための、より安全でクリーンな自動車に関する新しい国連ワーキンググループの副議長も務めている。

米国運輸省入省前は、自動車業界で10年以上勤務し、製品開発、プロセスエンジニアリング、車両力学、国際サプライチェーン管理、調達などの職務を歴任した。

バージニア大学の機械工学科を卒業。また、ウェイン州立大学で経営管理の修士号を取得した。



氏名 M. Cristina Galassi
所属 欧州委員会 域内市場・産業・起業・中小企業総局 政策担当官

現在のポジションに着任したばかり。以前は、欧州委員会 共同研究センター(JRC)で科学プロジェクトオフィサーとして勤務していた。過去5年間は、自動運転車の新しいEUおよび国連の型式認証フレームワークの開発に関連するJRCの活動を主導し、安全要件と検証に焦点を当てた。航空宇宙工学を学んだ後、ピサ大学にて原子力と産業安全の博士号を取得。